



「知的産業」の責任を再認識

県地質調査業
協会 会長 喜内 敏夫

新年明けましておめで
とうございます。

皆様方には、お健やか
に平成30年をお迎えのこ
ととお慶び申し上げま
す。また、当協会の事業
活動につきましては、日
頃よりご理解、ご協力を

賜り厚く御礼申し上げま
す。

当協会は昭和45年12月
の発足以来、信頼される
協会を目指し、平成26年
4月より「一般社団法人
栃木県地質調査業協会」
になりました。なお平成

17年には（一社）関東地
質調査業協会栃木県支部
を兼ねることになり、

（一社）全国地質調査業
協会連合会の活動も含め
て、全国の業界の情報提
供を受けています。また、当協会は（公社）

地盤工学会とは関係が深
く、13年前の地盤工学会

関東支部栃木県グルー
プの立ち上げから参加し、
関東地質調査業協会栃木
県支部長が評議員の一人
となっています。昨年、

史街道対流圏の強化プロ
ジェクト」と題した基調

講演、栃木県総合スポー
ツゾーンの整備や上塩原
地区の地すべり対策事
業、治山事業等の報告を
栃木県セッションとして
行いました。

生じそうな事態を察知
し、あり得る結果を予測

して、その後の深刻な問
題を回避することが大事
です。地質調査業は地
質、土質、地盤、地下水
など、主として地中の不
可視なるものを対象とし

と考えます。今後とも、関係各位の

さらなるご指導、ご鞭撻
をお願い申し上げますと
ともに、皆様方のご健勝
とご多幸を祈念申し上げ
まして、新年のご挨拶と
させていただきます。

回地盤工学会関東支部発
表会が県総合文化センタ
ーで行われ、320名が
参加。栃木県地質調査業
協会も全面的に協力しま
した。特別企画では、江
連隆信県土整備部長によ
る「日光・会津・上州歴

品質のねつ造や完成品の
検査体制の不正が相次い
でいますが、これは他人
ごとではありません。各
団体で発刊している倫理
問題事例集の事例を社員
同士で議論、倫理問題が

ています。技術情報とい
う無体物を成果品とする
知的産業であることを自
覚し、優れた専門技術を
もって、責任を再認識
し、安全・安心な社会の
構築に積極的に取り組ん
でいかなければならない